

令和4年度 福島区区政会議(市民協働部会及び保健福祉・総務部会)でいただいたご意見と対応方針一覧

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見内容	会議での回答内容	回答課	対応方針
1	岡田委員 (地域活動協議会(福島))	防犯意識向上の啓発活動について、覆面パトカーでアナウンスをしているが、早く通り過ぎてしまうので何を言っているのか聞き取れない。ゆっくり進むか、止まってアナウンスをするように改善してほしい。	いただいたご意見については福島警察署にお伝えする。	市民協働課(市民協働)	いただいたご意見については、福島警察署にお伝えしました。 円滑な通行状態を保ちつつ、可能な限りゆっくり走行しますとのお答えでした。
2	中村委員 (地域活動協議会(上福島))	健康関連施策のひとつとして百歳体操の継続支援が挙げられているが、私の地域では百歳体操だけではなかなか参加者が集まらないので、他の体操も合わせて別途講師をお願いするなど工夫しており、経費がかかっている。財源は地域活動協議会の補助金を使っているが、特に力を入れて取り組むつもりがあるのなら、百歳体操について特別な予算上の支援をしてほしい。	百歳体操は原則として地域で自主的に取り組む事業であり、区役所だけで特別な予算上の支援をするのは困難である。しかし、ご要望については所管局である福祉局にお伝えする。	保健福祉課(運営)	介護予防に資する住民主体の通いの場として、百歳体操を区内全域に普及することにより、区民の皆様の介護予防の推進に取り組んでいます。また、百歳体操をきっかけに近所に知り合いが増えることで、地域のつながりや見守り活動など地域コミュニティの活性化にもなります。区役所としては、継続や立上げ時の支援として、百歳体操のサポーターの方々への後方支援並びに地域担当保健師や体操指導者の講師派遣等を実施しています。さらに、介護予防に関して知識を地域で共有していただくことを目的とした講座も開催しています。 なお、地域活動協議会補助金の取扱い上、別途公費との併用ができないことから、今後、一層充実した活動が地域で実施できるよう、ご意見の趣旨を踏まえて、所管の福祉局へも働き掛けをしてみたいと思いますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

番号	委員名 (所属団体等)	ご意見内容	会議での回答内容	回答課	対応方針
3	小笠委員 (地域活動協議会(海老江西))	「個別避難計画」ではやるべきことがたくさんある。女性会で活動をしているが、今後災害が起こった時は、女性会が「助ける側」として多くの段取りをしていかななくてはならないのか。	当事業については今後モデル事業として取り組む予定である。女性会が「助ける側」として活動することが決まっているわけではない。地域のみなさまと話し合いをしながら進めていきたい。	市民協働課(市民協働)	今後、個別避難計画の作成にあたりましては、モデル事業を実施しながら、事業の進め方など検討してまいりたいと考えておりますので、ご協力よろしくをお願いします。
4	中村委員 (地域活動協議会(上福島))	「個別避難計画」について、要援護者に対して災害時の救助だけを取り出して取り扱うことに違和感を感じる。本来なら日頃から地域で要援護者を支援して、その中で災害時の対応として「個別避難計画」のようなものを考えるべきだと思う。 また、災害時に要援護者を助けるなら、区役所の役割として「地域に車いすを配置する」「避難所で特別なスペースを確保できるようにする」など予算を使った取組が必要なのではないか。	要援護者への日頃の支援としては、既に各地域において見守り活動をしていただいている。 予算を使った取組についてはなかなか難しいが、できることから進めていきたい。	保健福祉課(地域福祉) 市民協働課(市民協働)	現在大阪市では、高齢者や障がい者など支援を要する方の多様なニーズを踏まえながら各種福祉施策を展開し、また災害発生に備え市民の財産・生命を守るため各種防災施策を推進しています。 福島区役所においても地域での見守り活動支援をはじめ、さまざまな地域福祉・防災関係事業に取り組んでおり、個別避難計画だけでなく関連事業とあわせて複合的に推進を図っているところです。 今後、個別避難計画の作成にあたりましては、モデル事業を実施しながら、事業の進め方など検討してまいりたいと考えておりますので、ご協力よろしくをお願いします。
その他いただいたご意見					
5	中村委員 (地域活動協議会(上福島))	地域振興会の加入率が低下しているのは、地域振興会という制度が古い生活様式を前提としているからだと思う。地域振興会の加入率向上のために苦勞するよりも、現在の生活様式に見合った新たな制度を考えた方がよりよい政策になるのではないか。			